



生分解性フリースの開発で「エコパフォーマンス賞」を受賞



2017年11月に独・ミュンヘンにて開催された機能素材を中心とする展示会「Performance Days」（約200社が出展）において、ポンテトルト社の「biopile」が「Eco Performance Award」を受賞しました。

昨今、不法投棄されたビニール袋やプラスチックが、自然汚染や動植物環境破壊の原因とされ、ポリエステルを原料とするフリースも、元々、ニットループを起毛、剪毛を繰り返して製造する為、その製造段階で発生するポリエステルの粉末が、水で洗い流され、河川を伝って、最終的に海洋に蓄積する為、同様に、環境破壊の一因と目されています。

ポンテトルトが開発したフリース「biopile」は、表地がポリエステル100%、裏地がテンスル100%で、裏地のテンスルが水で分解する生分解性素材となっています。ポンテトルトでは昨年も、ナイロン100%の生分解性素材にて同展示会で受賞しておりますが、こちらは、土壌内では分解しますが、水の中では分解しない素材でした。

「biopile」は、ドイツの取引先、VAUDE社よりの要請により開発され、裏地を生分解性のテンスルパイル（フリース）を用いて製造することにより、真水のほか海水でも分解するエコ貢献度が評価されての受賞となりました。「biopile」はすでに本年より、VAUDE社の製品に採用されています。

消費者の環境意識の高まりにより、「環境にやさしい素材」を選ぶ消費傾向から、今後、「biopile」のアピールを強化していきます。

(受賞の記事が、ヨーロッパの各専門紙に掲載されました。)



発注元の VAUDE 社の製品写真と共に機能が紹介されています。



写真は、Pontetorto社/ルジ・バンチ専務